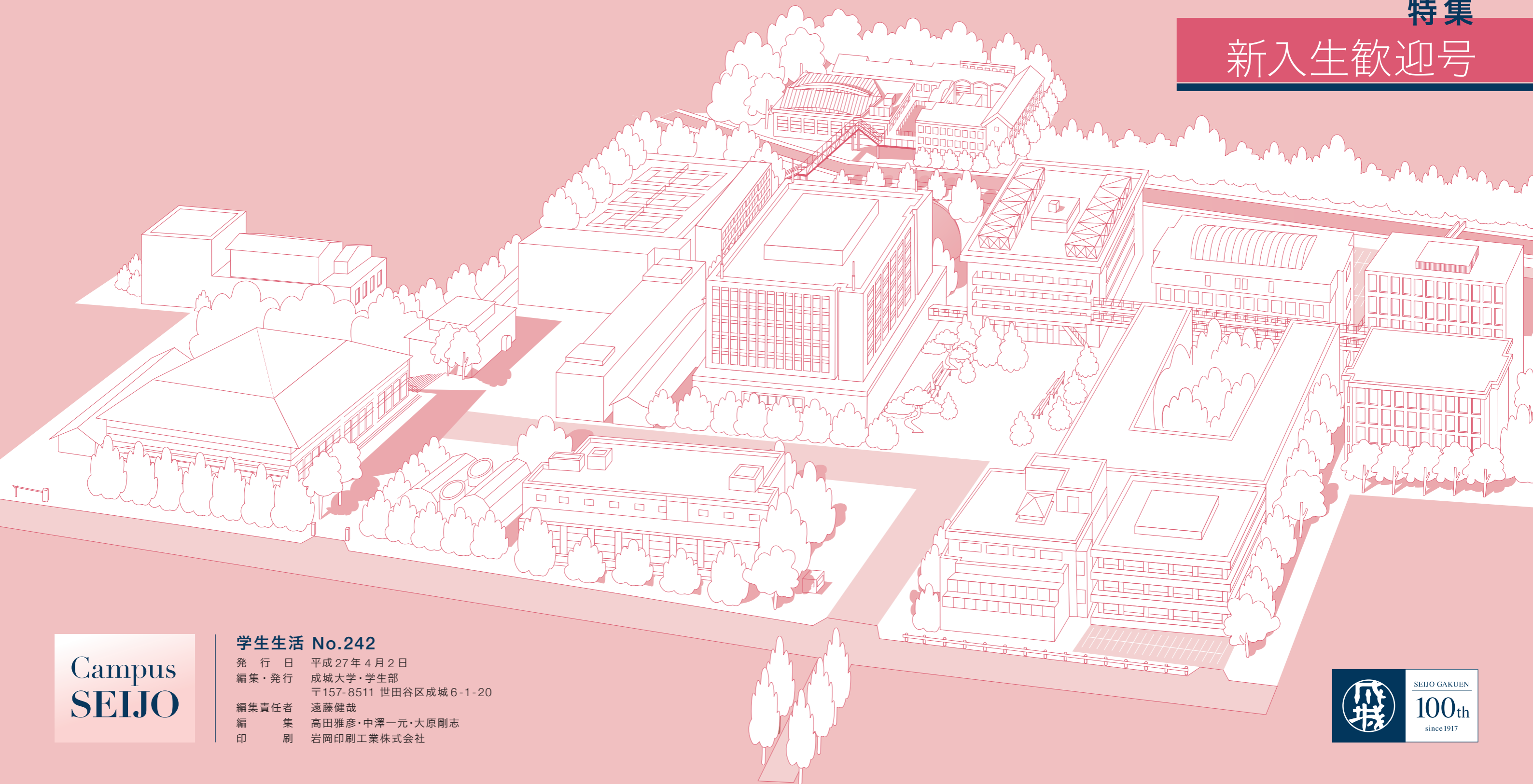


Campus SEIJO

学生生活
No.242

在学生・保証人に向けた広報誌

特集
新入生歓迎号



Campus
SEIJO

学生生活 No.242

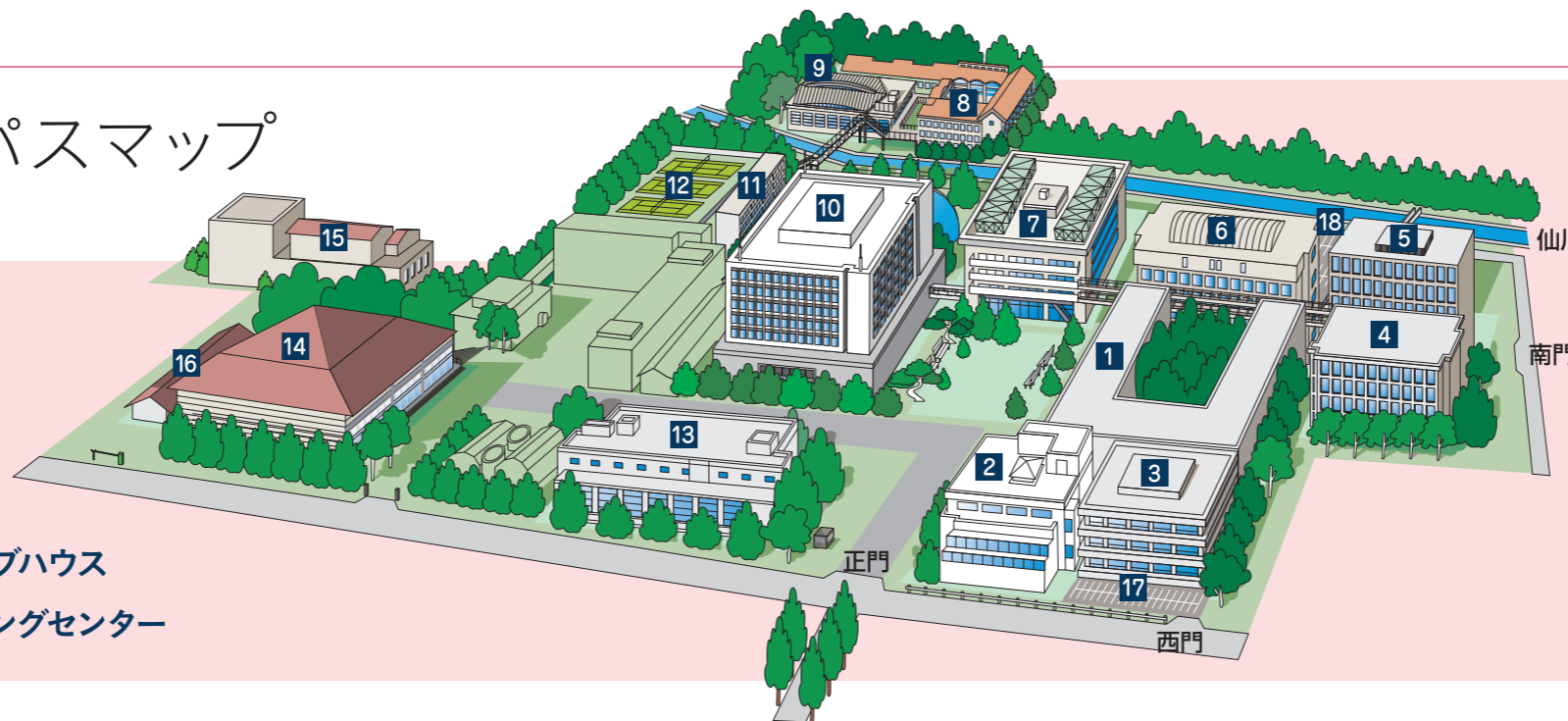
発行日 平成27年4月2日
編集・発行 成城大学・学生部
〒157-8511 世田谷区成城6-1-20
編集責任者 遠藤健哉
編集 高田雅彦・中澤一元・大原剛志
印刷 岩岡印刷工業株式会社



大学施設紹介

成城大学キャンパスマップ

- 1 1号館
- 2 図書館
- 3 4号館
- 4 5号館
- 5 8号館
- 6 7号館
- 7 2号館
- 8 体連クラブハウス
- 9 トレーニングセンター



- 10 3号館
- 11 文連クラブハウス・大学道場
- 12 第1テニスコート
- 13 法人事務局・大学食堂棟
- 14 澤柳記念講堂
- 15 第1体育館
- 16 大学特別教室棟
- 17 第1駐輪場
- 18 第2駐輪場

大学施設紹介

大学事務室を知ろう！

新入生の皆さんが卒業するまで頻繁に接する大学 事務室です。業務内容や場所をしっかりと覚えておきましょう。

1 1号館 1階

学生部 学生生活全般、課外活動、健康管理等のサービスを行う機関

- 学生課：☎ 03-3482-9081
- 奨学金担当窓口：☎ 03-3482-9080
- ▶ 学生会その他学生の自治活動の助言・指導および育成に関すること
- ▶ 学生の集会、出版物、掲示、ピラ配布、行事に関すること
- ▶ 部室・課外活動教室の管理に関すること
- ▶ 学生証、通学証明書、学割証等の発行に関すること
- ▶ 転部・転学科・休学・復学・退学等に関すること
- ▶ 住所変更および身上異動に関すること
- ▶ 欠席に関すること（学校感染症による出校停止、裁判員制度に関わる欠席、忌引、病欠・けが等による7日以上欠席）
- ▶ 学生教育研究災害傷害保険に関すること
- ▶ 奨学金に関すること
- ▶ 下宿・アルバイトの斡旋に関すること
- ▶ 遺失物・拾得物、盗難被害に関すること
- ▶ 授業料等納付金の延納等に関すること
- ▶ 自転車通学および自動車通学特別許可に関すること
- ▶ トレーニングセンターに関すること

■ 保健室：☎ 03-3482-9085

- ▶ 健康診断の実施
- ▶ 健康管理・健康相談（医師・看護師）
- ▶ 応急処置や休養への対応

教務部 学生の教学に関するサービス機関

- 教務課：☎ 03-3482-9045
- ▶ 授業に関すること
- ▶ 履修登録の受付、履修相談および指導
- ▶ 履修の手引・シラバス・授業時間割に関すること
- ▶ 卒業論文・卒業研究に関すること
- ▶ 休講・補講、授業教室に関すること
- ▶ 学長賞懸賞論文に関すること
- ▶ 科目等履修生・聴講生・他学部聴講に関すること
- 学務課：☎ 03-3482-9054
- ▶ 学業成績に関すること
- ▶ 学内試験および定期試験に代わるレポートに関すること
- ▶ 教職課程に関すること
- ▶ 学芸員課程に関すること
- ▶ 学籍および成績に係る諸証明書の発行に関すること

なんでも相談窓口

この窓口は、学生のみなさんが、どこに問い合わせをしたらよいか分からないことや、ちょっと困ったことがあった時に、気軽に立ち寄ってもらうための場所です。

窓口の相談は、スタッフおよび大学カウンセラーが担当します。学習に関することや学生生活に関する事など、気軽にご相談ください。相談の内容によっては、どこでどのような支援を受けられるかなど、一緒に解決するお手伝いもします。

ぜひ、気軽にいらしてください。お待ちしております。

相談方法 予約制ではありませんので、窓口へ直接お越しください。
「電話による相談」「保証人からの相談」もお受けします。

※電話番号は Campus Square for Web 等でお知らせします。

キャリアセンター キャリア形成、就職支援・斡旋に関するサービス機関

- キャリアセンター：☎ 03-3482-9063
- ▶ キャリア形成、就職支援・斡旋に関すること（相談・ガイダンス等）
- ▶ 求人に関すること（求人受付・開拓）
- ▶ 資料室に関すること（キャリア関連資料の収集・閲覧・貸出）
- ▶ 卒業年次生の進路登録に関すること
- ▶ インターンシップに関すること
- ▶ 就業力育成・認定プログラムに関すること

7 2号館 2階

国際センター 学生の留学相談、学内の国際交流に関するサービス機関

- 国際センター：☎ 03-3482-9020
- ▶ 協定校との学生交換および教員受入れに関すること
- ▶ 短期および長期留学生に関すること
- ▶ 外国人留学生に対する奨学金や在留手続きに関すること
- ▶ 学内で出来る国際交流に関すること

3 4号館 1階

■ 学生相談室：☎ 03-3482-9086

- ▶ 学生相談（学生生活を送る中で出会うさまざまな問題に関する相談）
- ▶ 心理相談（臨床心理士・医師）
- ▶ 法律相談（弁護士）
- ▶ 心理・性格検査の実施

教室番号の見方を知ろう！

教室番号は「号館番号」「階数」「部屋番号」の組み合わせにより3桁で表示されます。

Ex.) 731 : 7号館 3階の教室
301 : 3号館地下1階の教室(0は地下)
53G : 5号館 3階の(ゼミ)教室

例外(大教室)

002 : 2号館地下1階 007 : 7号館 4階
003 : 3号館地下1階 008 : 8号館 4階

掲示板を必ず見よう！

大学からの学生に対する伝達・連絡は、「Campus Square for Web」および1号館1階にある**所定の掲示板**で行います。毎日の登・下校時には、必ず掲示を見る習慣をつけてください。

掲示した事項については、周知されたものとして取り扱いますので、掲示の見落とし等により不利益を被らないよう注意してください。

オフィスアワーについて

各学部では、講義に関する疑問や質問あるいは、進路、学生生活に関して教員に相談できる**オフィスアワー**制度を設けています。各教員の**オフィスアワー**は**掲示板**もしくは各学部事務室で確認できます。予約が必要な場合もありますので、あらかじめ各学部事務室に問い合わせください。

もちろん、**オフィスアワー**以外の時間帯でも質問・相談はできます。その際はあらかじめ予約を取っていただいたほうがよいでしょう。



大学生活をどう過ごしますか

学長 油井 雄二



新入生の皆さん 入学おめでとう。

春は、秋の紅葉の季節と並んで、成城の町が華やかな色に包まれる最も美しい季節です。満開の桜の下、成城大学に入学された皆さんを教職員一同、心から歓迎します。

さて、皆さんは今日から大学生。これからの4年間をどう過ごしますか？

人生80年の時代、大学生活はわずか4年、ただか5%に過ぎません。卒業後の人生は60年、70年と続きます。しかし、この4年間をどう過ごすかが、卒業後の人生に大きな影響を与えることは間違いありません。

かつて、1980年代ころまでは、大学生は社会に出る前のモラトリアム（猶予期間）、何をやっても、また何もやらなくてもよい自由な期間と言われていた時がありました。企業も、必要な知識や技能は会社に入ってから学べばよい、学生時代は勉強よりも部活を頑張ってコミュニケーション能力を磨くのが第一と言っていた時期がありました。

しかし、社会は大きく変わりました。日本の企業は世界的な競争の中でしごきを削り、有名な大きな会社であっても、他の会社に吸収されたり倒産することも珍しくありません。年功序列や終身雇用という日本固有の制度も崩れ去りました。企業が社内でトレーニングする余裕が無くなるのに合わせて、大学生に即戦力を求める声も強くなっています。

社会が大学に対するそして大学生に対する期待は、まさに時代に応じて大きく変わっています。大学も社会的存在の一つである以上、社会の変化に対応することは必要ですが、しかし、大学教育の本来の役割は、その時々々の要求に迎合することではなく、むしろ時代の先を読み、将来を担う人材を育成することにあります。

21世紀は、知識基盤社会と言われていています。それは、20世紀のモノを中心とした産業社会・工業社会から、情報や知識が社会を動かす原動力となる社会です。しかしこの社会では、多くの知識を取り入れること、学ぶことだけが重要なわけではありません。知識は、日々、新たに積み重ねられていきます。知識基盤社会では、幅広い知識とともに、新たな知を活用し、また探究できる柔軟な思考力や創造性が必要とされます。

21世紀は、ヒト・モノ・カネのグローバル化が一層進む社会でもあります。なかでも知識には国境がありません。知識をめぐるグローバル競争がますます激しくなるでしょう。1990年代以降、大学生数は、日本ではわずかな増加に留まったのに対して、中国や韓国はじめアジアでは急激に増加しています。アジアの若者同士が競い合う時代が到来しているのです。

21世紀は、先行きの不透明な時代でもあります。グローバル化は、国・民族・宗教の対立を深め、「紛争」も特定の地域にとどまらず、地球規模で伝播しています。一国の経済破たんが世界経済を揺るがす事態もたびたび生じています。日本について言えば、世界のどの国も経験したことのない高齢社会が到来します。

新入生の皆さんは、こうした変革期にある時代を生き抜かねばなりません。そのためには、既成概念やしごらみにとらわれない、若者の自由な発想力が求められています。物事に対してチャレンジ精神をもって主体的・積極的に取り組むことが必要です。さまざまな民族の人々

と協働していくには、語学力を高めることは言うまでもありませんが、協調性や責任感・使命感をもつとともに、異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティが不可欠です。

大学生の4年間は、人生の中で最も自由な時間です。有意義に活用して、皆さんが未来を切り拓いていく人材となるよう大いに期待しています。成城大学は、皆さんを全面的にバックアップします。



「学長とランチミーティング」
開講期間中に不定期で行われる学生と学長のコミュニケーションの場。参加は自由。

油井雄二学長 プロフィール

ゆい・ゆうじ

一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了。
富山大学を経て、成城大学経済学部教授に。
2010年学長、2011年から学園長。





学部長からのメッセージ

新世界としての文芸学部
—そこでの暮らし方

文芸学部へのご入学、おめでとう。
私たちは皆さんを心より歓迎します。

文芸学部長 戸部 順一

「入学、おめでとう」は皆さんにとって少々聞き飽きた祝辞かもしれませんね。世話になった先生方から、友人たちから、そしてもちろんご家族からも「おめでとう」と声を掛けられたことでしょう。でも、聞き飽きたなんて言わずに、その祝辞に込められている気持ちを噛みしめながら、新しい世界へと踏み出す力の一つとしてください。英単語で「おめでとう」は congratulations。その出だしの音 con- は「一緒に、共に」の意味で、皆さんの今のお気持ちを、その高揚感をまさにわがこととして、同じ気持ちでいるぞ、同じようにうれしいぞ、ということの表れが congratulations には込められている、そんな風に思います。「おめでとう」には「一緒に」という要素は見当たりませんが、その発声の根っこには、congratulations と共通する気持ちがあるのは確かでしょう。まだ皆さんと縁のない私たちが「おめでとう」と声を掛けているのは、これからの4年間、みなさんが大学での学びを通じて大いに飛躍するのを手助けできる嬉しさの、またそんな成長を眺められる期待の、その達成を4年後にともに喜び合えることの、そういった気持ちの表れだと、了解してください。

さて「おめでとう」の言葉に後押しされながら、新しいスーツに袖を通し、今、皆さんは入学式に臨んでいます。いよいよ明日から大学生活が本格的に始まります。文芸学部は今年で創設から61年が経ちました。人間で言えば還暦(60歳になったということ)を迎え、新たな一歩を踏み出した年と言えましょうか。それだからというわけではないのですが、新入生の皆さんにはこれまでの教育方針をさらに深化・充実させた新カリキュラムを用意しました。そのカリキュラムの進行に従って成長してゆく皆さんの姿を、少々気が早いと言われるかもしれませんが、想像させてください。

- 4月の末、今日はどんな切り口で「文化」についての話を聞けるのか？ 世の中にはいろんな考え方があるものだに気づき、「文芸講座」への出席が楽しみになってきた皆さんの姿は、私たちの励みになる(一つの命題を6学科の視点から解説する「文芸講座」を新設しました)。
- 定員16人の教室。いつ質問されるか不安に思っていたが、自習の成果か、質問される前に手を挙げるようになったと、その自信のほどを友人に話す声を耳にしたときには、企画の成功を確信する(今年度より、1年生の必修英語は16人程度の少人数クラスで展開します)。
- 1年生の後期、「書くこと」に特化したWRDの授業で、提出したレポートが褒められたのを当然だという顔で受け取るのを見たとき、たくましくなったなあと、呟いてしまう(今年度よりWRDは前・後期の半期科目となり、後期WRDでは自分の特に身につけたい技能別のクラスを展開します)。
- 2年生の夏、アクティブ・ラーニングが浸透したからか、指示したわけでもないのに図書館で本を読む姿を見かけたときには、安堵を覚える。
- 3年生の秋、ゼミの時間、自分の主張を整然と語る時、当惑とうれしさが絡み合う。
- 暑い盛りの就職活動を終え、進路が決まったとの報告を受けたときには、やきもきしていた数カ月が消し飛ぶ(文芸学部独自のキャリア支援「はばたきプロジェクト」を一昨年から実施しています)。
- 大晦日、卒業論文を読んでいたら年が明けていた。
- 卒業式の日、社会に飛び立つ皆さんに「おめでとう」と声をかけたときには、報われた気持ちと寂しさを覚える。

どうか有意義な大学生活を送ってください。

戸部順一学部長 プロフィール

とべ・じゅんいち
東京大学大学院人文科学研究科西洋古典学専攻、博士課程修了。
専門分野は、西洋古典学。
2012年より文芸学部長に。

学部長からのメッセージ

「新しい世界」、
そして「廻り道」

経済学部長 臼井 英之



生を享けたものすべてがいきいきと躍動し始めるこの季節、大学という新しい世界に第一歩を刻もうとする若いあなたを、これからともに学ぶ仲間として迎え入れる。このことを、私たち経済学部教職員一同、心から嬉しく思う。

ここでいう「新しい世界」とは、あなたがみずからの力で切り拓く知の世界を指す。これまでとくりんできた、あの「[受験]勉強」をとおして向き合ってきた世界と較べれば、その世界は鮮やかに彩色されて目の前に広がっている。経済学部生だからといって、いまから自分の周りに縄を張る必要など、まったくない。まずは知の沃野を見渡し、あなた自身で鋤を入れてみる。自己の世界が広がる。心が躍る。私たちがあなたのその昂揚にふれたとき、心を躍らせるのだ。

そうした中から、気に懸かることがらが浮かび、大切にしたいものが芽吹いてくるはずだ。経済や経営の原理と人間とがどう結び合うかという発想の世界で、少しばかりあなたに先んじて地を耕してきた私たちと一緒に、それらを育て、収穫にむけて汗を流す。同じ年代の仲間もその営みに加わる。「ともに学ぶ」だ。この営みは労苦をとまなうのが常である。しかし、実り豊かな果実をとまなうに分かち合えるのだという信念があれば、その労苦から逃れようなどという邪な気が起ることもない。一途に対象に打ち込む姿は美しく、心動かされるものだ。私たちはあなたのそんな姿を目にする機会を楽しみにしている。

ここで頭に留めておいてほしいことがある。それは、「ともに学ぶ新しい世界」の中であなたは、利害・打算・駆け引きなどといった、いつか直面し当惑するかもしれない世とは無縁ということだ。損得勘定無しの世界—あなたが身をおこうとしている世界は、この意味で「共同体(ゲマインシャフト)」である。企業の重要な義務のひとつである儲けの最大化という営為も、世で声高に

叫ばれる効率第一の要請も、ここには存在しない。到達点をめざして同じところをぐるぐる巡ったすえ、結果的に迂遠な道を選択したとしても、ともに汗をかくというプロセスに最大の価値がおかれているかぎり、その行為に負の評価があたえられることは決してない。いや、この世界に身をゆだねている間は、この種の真剣な「堂々巡り」も「廻り道」も、大いに推奨したいくらいだ。不安をいただくにはおよばぬ。目先の利にとらわれて短兵急に功を急ぐことなかれ。着実に土台を積み上げながら成長しているあなたを間近に見ることができれば、それは私たちにとって心からの喜びとなるのだ。

近代以降の経済や経営の原理を主要な構成要素とする現代の社会(ゲゼルシャフト)は、その原理にそぐわぬ人間を包み込むだけのゆとりを、まだ十分には持ちあわせていないようだ。あなたはいずれ、私たちのもとを離れてそれら諸原理が貫徹する世界へと、次の一歩を踏み出すことになる。しかし、そこで問われ、発揮される力の源こそ、大学という「ゲマインシャフト」で広げ育てあげた自己の世界、そして「廻り道」で流した汗なのだと思いたい。私たちをはじめとする仲間との営みが、あなたの深い喜びや無量の感慨となって訪れるときが、いずれきつとくる。そのとき、あなたともう一度じっくり語り合いたいと思う。そうした時宜を望み願いつつ、遅ればせの一言— ご入学おめでとう。ようこそ、経済学部へ!

臼井英之学部長 プロフィール

うすい・ひでゆき
一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。
専門分野は、社会政策。
2015年より経済学部長に。

学部長からのメッセージ

成城大学法学部へ
ようこそ

法学部長 鋤本 豊博



数多くの大学・学部の中から、成城大学法学部を選んで下さった皆さんを心から歓迎します。わが法学部の教育指針は、成城学園創立者澤柳政太郎が成城高等学校高等科第1回入学式において訓示した「成城高等学校の教育精神」（澤柳教書、成城学園ホームページ参照）を継承しており、それは次のような一文から始まります。「人生は真善美を理想すると言われるが、学校は真理行われ徳道が通りまた美的の所でありたい。」

そこで、成城大学法学部生になった皆さんに、本学部における真善美について、私なりのコメントをしておきます。

『真』: 大学は真理を探究し学理を明らかにする場であり、真理・学理の前には教師も学生もなく、対等な立場で学問的論議が進められます。それ故、皆さんは、教師の言うことを鵜呑みにせず、納得できなければ質問し、理由を挙げて反論し、あるいは自学自習して自分なりに考え抜いた見解があれば堂々と主張して貰いたいです。皆さんの見解に優れた学理を見出せば、教師は喜んで服しますし、間違ったところがあれば、どこがどのように何故間違っているかを説明します。民主主義社会では物事は多数決で決めますが、大学では多数決はそれほど価値を有しません。人間そのものが感情に左右され、理性的でない存在である以上、多数派の意見が必ずしも合理的であるとは限らないからです。

『善』: 法を学ぶということは、ある種の権力を手にすることでもあります。人に損害を与えかねない状況であっても、どのように振る舞えば自分に有利な判断が下されるかの術を知るからです。それだけに、法を扱う者には高い善が求められます。ところが、この善を保持するには多大な努力を要します。平日だけ、あるいは人がいるときだけ善を示せば善人になるというわけにはいかな

いからです。「天知る、地知る、我知る、人知る」。皆さんには、人が見ていなくても悪は断じて行わず、感謝という見返りさえも期待せずに善を示し続けて貰いたいです。また、実社会で直面する問題は、論理的思考に長けた人がうまく解決できるとは限りません。論理的思考に加えて善性、すなわち「人の気持ちを理解し共感できる感性」が必要だからです。これからの大学生活で得られる多様な人間関係によって、この感性を磨いて下さい。

『美』: 美は芸術や自然界に固有のものではありません。人の発する言葉や行動にも美は存在します。古来、日本には「言霊信仰」（言葉を口にすればその通りになるという信仰）がありますし、さりげない振る舞いから、その方の心の美しさを感じる取ることもあります。他方、昨今のメディア社会でしばしば見られるように、人の話を理解しようともせず、単純極まりない論理だけを大声で振りかざし又は繰り返す、できるだけ短い言葉で最も効果的に他者を切り捨てることを競う風潮があります。これは、自分に呪詛していることに無自覚だからできることであり、天に唾するような態度は実に醜いです。他者を思いやる言葉と気品に満ちた行動は、わが法学部生の個性として範を天下に示したいところです。皆さんのこれから始まる自分づくりに大いに期待しています。

鋤本豊博学部長 プロフィール

すきもと・とよひろ

北海道大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。
白鷗大学法科大学院教授を経て、成城大学法学部教授。
専門分野は、刑事法。2014年より法学部長に。

学部長からのメッセージ

入学おめでとう!

～ようこそ、桜咲く成城へ。～

社会イノベーション学部長 古川 良治



社会イノベーション学部新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

この冊子を皆さんが手にする頃、おそらく成城大学では桜が咲き誇っているのではないかと思います。学内をまだよく知らない人も多いかもしれませんが、2号館と3号館の間を抜け、左に坂を下りるとグラウンドがあり、川に沿うように立派な桜並木があります。また、成城の街もあちこちに桜の木が植えられていますので、是非天気の良い日に、大学の内外を散策してみてください。

さて、社会イノベーション学部は、ちょうど10年前の桜の時期にスタートしました。当時は、イノベーションという言葉はまだ広く使われてはいない状況でしたが、この10年の間に様々な企業のCMでイノベーションという言葉を使ったコピーを見かけるようになり、社会的にも関心を持たれるようになってきています。イノベーションは、社会的・経済的な価値を生み出す人間の知的な創造活動です。単に技術の革新だけではなく、新しいサービス・アイデア・仕組みなども、普及し更には人々の生活や経済活動に影響をもたらすものはすべてイノベーションとして捉えることができます。つまり、皆さんの身近なところにイノベーションはあるのです。

21世紀の日本は、皆さんもご存知のように様々な問題を抱えています。こういった困難な状況の中で、社会に持続的な発展をもたらす原動力となるイノベーションは非常に重要な意味を持っていると同時に、多くの要素が関連しています。イノベーションを生み出す過程では、国がどのような「政策」を展開するか、企業がどのような「戦略」をたてるのか、が重要な要因となります。また、イノベーションの生成・普及・影響のプロセスに「社会」や「心理」がどのように関わることを見極めることも大切です。さらに、イノベーションは日本国内だけの問題ではなく、海外との双方向

での影響にも目を向ける必要があります。まさにグローバルな観点に立ち、幅広い視野を持った学びが求められていると言えます。このため、本学部では「政策」「戦略」の専門科目を政策イノベーション学科に、「心理」「社会」の専門科目を心理社会学科に配置していますが、その多くは両学科の学生が自由に履修することができます。また、3年生まで英語を必修とし、グローバル社会で活躍するための基礎となるスキルの修得を促進しています。

学部開設から10年がたち、イノベーションをめぐる社会環境も大きく進展してきています。基本的な理念や教育の枠組に変わりはありませんが、学部では、時代により合致したカリキュラムとなるよう、チェック・改革をはじめとしています。皆さんも、自分と社会との関わりに注意を向け、問題意識と目的意識を持って4年間の学びを組み立てて行ってください。最後になりますが、今年度は学部10周年記念事業が行われるほか、2017年には成城学園100周年も迎えます。学園、学部にとつての節目とちょうど重なる時期に学生生活を送ることができるのは、限られた学生だけです。是非、これらの記念事業にも積極的に参加し、4年後の桜待つ時期に大きな自信を持って卒業できるようにしてください。

古川良治学部長 プロフィール

ふるかわ・よしはる

東京大学大学院社会学研究科社会心理学修士課程修了。
専門分野は、社会心理学、メディアコミュニケーションの心理学。
2013年より社会イノベーション学部長に。

課外活動紹介

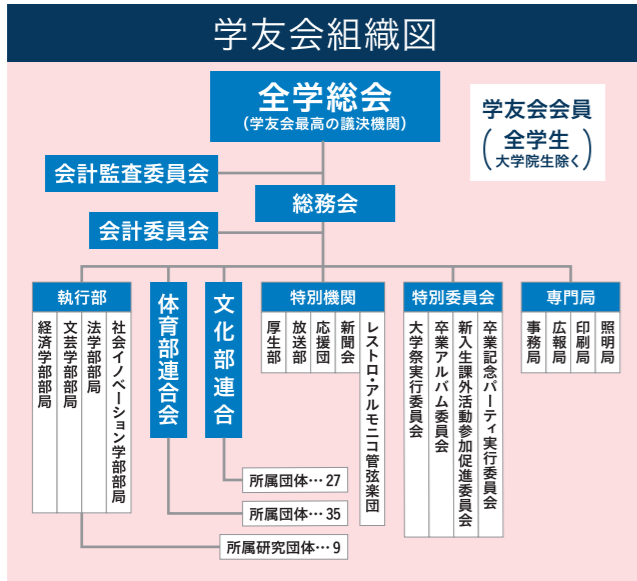
学友会を知ろう！

「学友会」とは何か？ 成城大学生全員により構成されており、「学生の学生による学生のための自治組織」です。「学友会」の主な活動は、学生生活や課外活動等で生じる諸問題など様々な事柄について検討したり、学生生活を充実させるためのイベント企画や運営などをおこなっています。みなさんは入学したその時から「学友会員」となっています。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんにとって期待と不安が入り混じった季節となりましたね。成城大学で最高の学生生活を送れることを願っています。成城大学学友会では、学友会員である皆さんから頂いた学友会費を使い、大学内での様々な行事、各団体の活動を行っています。一度さりの大学生活です。ぜひ、学校行事や各団体の活動に積極的に参加しましょう！きっと楽しいこと間違いなしです。大学はとても自由なところです。それは裏を返せば、すべてを自分で決めなければならないということです。部活や勉強についてもやるかやらないかは自分次第です。だからと言って遊び過ぎると4年後に苦労するのは自分です。この4年間は皆さんの人生の中で最後の学生生活となります。ぜひ、この4年間だからこそ出来ることをしてみましょう。部活や勉強、学校行事はまさにそれです。どうか途中で投げ出さずに最後までやり遂げてみてください。その経験は必ず皆さんの将来に役に立つはず。未来に向かって走り続けてください。皆さんの今後の飛躍に期待しています。



平成 27 年度総務会メンバー
平成 27 年度総務会議長 川端 勇輝 (法学部 3 年)



全学総会の様子。各上部団体の総務などが登壇している。(写真：総務会提供)

学友会組織内の各役割

- ◆ 全学総会
成城大学の学生に関わる様々な案件を検討・報告し、それを決議するための“最高議決機関”のこと。中学校や高等学校であった生徒総会に近い位置付け。毎年6月に開催され、各団体の決算報告・予算案、大学諸問題に関する審議をおこなっています。
- ◆ 総務会
学友会各機関の統括、全学総会の開催、学友会費の管理等を、中心となっておこなっています。総務会自体は、経済学部部会・文芸学部部会・法学部

- 部会・社会イノベーション学部部会・文化部連合・体育部連合会の各代表・副代表から構成されており、定期的に、日常で生じる各団体や学友会員に関する諸問題について解決策等の検討をおこなっています。
- ◆ 会計監査委員会
学友会費が正しく(明朗に)運用されているかチェックする機関。
- ◆ 会計委員会
学友会費を実際に管理している機関。各団体との予算折衝や決算事務を担当。

- ◆ 執行部
各学部にも所属する学生の自主的な研究活動推進や大学生生活の向上のための各種活動、行事の企画・運営をおこなっています。広報誌の製作や講演会の企画・運営、オリエンテーション運営なども主な活動の一つです。

特別委員会・特別機関・研究団体・専門局一覧

- ◆ 特別委員会
大学祭実行委員会・卒業アルバム委員会・新入生課外活動参加促進委員会・卒業記念パーティー実行委員会
- ◆ 特別機関
厚生部・放送部・応援団リーダー部・チアリーダー部・新聞会・レストロ・アルモニコ管弦楽団
- ◆ 研究団体
会計学研究会・民俗学研究会・ミステリークラブ・歴史研究会・文学研究会・マスコミ研究会・司法試

- 験勉強会・政治経済研究会・ヨーロッパ文化研究会
- ◆ 専門局
事務局・広報局・印刷局・照明局

オリエンテーションに参加しよう

- ◆ 学友会執行部主催オリエンテーション
- ▶ 経済学部… 4月4日(土) 15:30～
- ▶ 法学部… 4月6日(月) 10:00～
- ▶ 社会イノベーション学部… 4月6日(月) 15:00～
- ▶ 文芸学部… 4月7日(火) 15:00～
- 2号館地下 002 教室

- ◆ 文体連オリエンテーション
- 4月23日(木)・24日(金) 澤柳記念講堂

課外活動紹介

文化部連合を知ろう！

文化部連合とは、成城大学学友会会員で構成される団体であり、各文化的活動の促進のために組織された個団体の集合組織です。その執行機関として文化部連合本部があり、本部では各文化的活動団体(文化部連合所属団体)の取りまとめや活動支援などを担っています。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学生活が始まり、期待に胸を躍らせていることと思います。その反面、入学したばかりのこの新しい環境にまだ慣れない方も多くかもしれません。しかし、だからこそ新しいことに挑戦するチャンスが多くあります。このチャンスに自分が今までやったことのないようなこと、やりたくてもできなかったことなどにぜひ積極的に挑戦してみてください。様々な経験することによって、みなさんの世界は大きく広がっていくと思います。そして、みなさんの大学生活を充実させるものとして挙げられるうちの一つが課外活動です。課外活動には文化系、体育会系の部活、研究団体など様々なものがあり、また文化部連合には全部で30近くの団体があります。各団体どころが個性の溢れる、素敵な部活ばかりです。オリエンテーションなどに積極的に参加していただき、文化部連合の中にみなさんの心惹かれる団体があればと思います。文化部連合がみなさんの学生生活をより充実したものにするお手伝いができれば幸いです。新入生のみなさんの大学生活が有意義なものになるように願っています。



平成 27 年度文化部連合本部員
平成 27 年度文化部連合総務 加藤 茉莉乃 (文芸学部 3 年 漫画研究会)

文化部連合本部各局の役割

- ◆ 総務局
文化部連合本部の指揮、部長会議等の各団体への連絡、新本部員の募集・教育・管理をおこなっています。
- ◆ 会計局
主に文化部連合所属団体の予算決定・交付・会計

- 監査などをおこなっています。各団体が正しいお金の使い方をしているかなど厳しく管理しています。
- ◆ 企画局
主に新入生向けに部活紹介をする文体連オリエンテーションおよび、11月末～12月初旬に開催される文連総会の企画・運営をおこなっています。

◆ 広報局

主に文化部連合広報誌 C-ZONE (年2回発行、「新入生歓迎号」「リーダーズサミット号」)の制作・発行や、印刷室使用に関するコピーカードの管理・貸出をおこなっています。

◆ 事務局

学友会活動に必要な様々な備品の管理や貸出し・メンテナンス及び、教室・活動室・部室等の事務手続きをおこなっています。

日頃の活動の成果を発表します

文化部連合所属団体は、年間を通じて様々な文化的活動をおこなっています。その活動の成果を広く発表する場として、六月祭・大学祭・十二月祭などがあります。毎年様々な趣向の凝らされた展示や発表が催されています。

①六月祭:

毎年6月～7月に、学内施設や学外施設等を利用して団体毎に展示や発表をおこないます。

②大学祭:

毎年11月に開催される大学祭で団体毎に出展や発表をおこないます。

③十二月祭:

毎年12月に、1年間の活動の成果を学内施設や学外施設を利用して団体毎に展示や発表をおこないます。



文化部連合所属団体一覧

アメリカ民謡研究会・E. S. S.・映画研究部・映像シナリオ研究会・演劇部・合唱団・華道部・ギター部・狂言研究会・軽音楽部・広告研究会・古美術鑑賞会・サイクリングクラブ・茶道部・写真部・商業英語研究部・書道部・生物部・ダンス部・釣部・天文研究会・美術部・文芸部・成城ボランティア部・漫画研究会・落語研究会



課外活動紹介

体育部連合会を知ろう！

体育部連合会とは、成城大学学友会会員で構成される団体であり、各体育的活動の促進のために組織された個団体の集合組織です。その執行機関として体育部連合会本部があり、本部では各体育的活動団体(体育部連合会所属団体)の取りまとめや活動支援などを担っています。

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆様と、この成城大学で学生生活を送れることを嬉しく思っております。

皆様にとって社会人になる前の最後の学生生活が幕を開けます。非常に貴重なこの学生生活を満喫する為に先輩として私からアドバイスをお話しします。それは自分に嘘をつかない事です。自分という人間を繕ったり、背伸びをしたりする必要はこの学生生活で全くありません。それは、自分の成長を止めてしまう事になるからです。そういった自分作りにはいつか綻びが生じます。だから、出来ない事や困難にぶつかったらその都度自分自身の弱さを受け入れてみて下さい。そうすることできっと本当の意味で成長する事が出来ると思います。

大学生活を楽しみたい、たくさんの不安を解消したいといった想いは、ただ漫然と大学生活を過ごしているだけでは成就できません。何か目的を持って大学生活を過ごすことで、解消させるのです。しかし、まだ目的を考えられない、思いつかない、という方のために勝手ながら私



第60代成城大学体育部連合会本部幹部



平成27年度
体育部連合会委員長
羅 智文
(文芸学部4年アイスホッケー部)

が3年間で学んだことをこの場を借りてお伝えしたいと思います。それは初めてを怖がらないこと、そして組織として行動することです。私は現在アイスホッケー部と体育部連合会本部に所属しています。私は大学に入学す

るまでアイスホッケーをやったことも、見たこともありませんでした。しかし勧誘して下さった先輩たちの話を聞き、生の試合を観戦してアイスホッケーという競技に興味を持ったことで入部を決めました。そこから私は新しいことを一から始めることの大変さと、何よりだんだんと上達していくことに喜びを感じました。また同じ部活動内で、お互いに負けないようにと切磋琢磨し成長し合い、何かを成し遂げるために全員で努力し、支え合うことの素晴らしさを学ぶことができました。そして様々なタイプの人と出会い、人間として成長することができました。

私は結果的に選択肢として体育部を選びましたが、皆様には多くの選択肢が存在します。体育部、文化部、研究団体、サークルなど様々です。

その多くの選択肢の中で、まず皆様には自分にとって何が最適か、何を选ぶかを考えていただきたいと思います。

「出る杭は打たれる」とは言いますが、是非皆様にはこの大学生活において周りの目など気にせずに思う存分出過ぎていただきたいです。そして、なりたい自分に向かって出来る事は何でもチャレンジしてみてください。それがきっと皆様の成長に繋がると思っています。

最後まで読んで下さった方はありがとうございます。私の拙い経験が皆様に何か与えられたら幸いです。それでは皆様のこれからの大学生活が有意義なものになりますように陰ながら応援しております。

体育部連合会本部各局の役割

◆ 運営局

主に新入生向けに部活紹介をする文体連オリエンテーションおよび、前期・後期に1回ずつ開催される体連総会の企画・運営をおこなっています。

◆ 広報局

各部の年間活動報告書「GET」や体育部連合会所属団体の活動結果を広報する新聞「成城スポーツ」の制作・発行をおこなっています。

◆ 財務局

体育部連合会所属団体及び体育部連合会本部の会計管理をおこなっています。正しいお金の使い方を行っているかなどを厳しく管理しています。

◆ 事務・渉外局

主務会(各部の主務担当への連絡会)の運営、備品管理、他大学やOB・OG、各部顧問教員への連絡事項を滞りなくおこなうことを中心に活動しています。

◆ 四大戦推進局

四大学対抗(成城・学習院・成蹊・武蔵)の運動競技大会(通称:四大戦)が毎年開催されています。この四大戦の成功を目標に企画・運営を年間を通して行っています。四大戦は今年で66回目を迎え、成蹊大学で開催されます。

四大学運動競技大会に参加しよう

旧制七年制高等学校当時より、学習院大学・成蹊大学・武蔵大学と本学の四大学の体育会が中心となり、スポーツを通じて各校の親善交流を促進することを目的としている運動競技会です。競技は、各校の体育会所属団体が競い合う正式種目、学内予選を勝ち抜いた一般学生が競う一般種目があります。腕に自信のある新入生は、成城大学の代表として四大戦に参加して勝利を掴んでください!

一般種目

硬式・軟式テニス(男・女・混)、卓球(男・女・混)、サッカー、軟式野球、ソフトボール(男・女)、バスケットボール(男・女)、バドミントン(男・女)、バレーボール(男・女)、女子フットサル

体育部連合会所属団体一覧

合気道部・アイススケート部(男子アイスホッケー)・アメリカンフットボール部・空手道部・弓道部・剣道部・硬式庭球部(男子・女子)・硬式野球部・男子ゴルフ部・女子ゴルフ部・サッカー部・女子サッカー部・柔道部・水泳部・スキー部・漕艇部・卓球部・女子タッチフットボール部・馬術部・男子バスケットボール部・女子バスケットボール部・バドミントン部・男子バレーボール部・女子バレーボール部・男子ホッケー部・女子ホッケー部・洋弓部・ヨット部・ライフセービング部・ラグビー部・男子ラクロス部・女子ラクロス部・陸上競技部・ワンダーフォーゲル部



年間行事紹介

イベントに参加しよう!

成城大学では、年間を通じて様々なイベントが開催されています。イベントには学生主催のもの、大学主催のものがあります。これらに積極的に参加して様々な体験をすることで、学生生活を有意義なものにすることができるでしょう。

10月

四大学運動競技大会

学習院大学・成蹊大学・武蔵大学・成城大学の四大学でスポーツを通じた各校の交流を目的として毎年秋に開催されている伝統ある運動競技大会。体育会所属団体による「正式種目」、一般学生による「一般種目」に分かれており、各部門の各種目で対抗戦をおこない、総合得点を競い合います。



11月

文化祭

成城学園文化祭として幼稚園から大学まで学園全体が一体となって開催される一大イベント。中でも、大学祭は11月1日～3日まで開催され、様々な展示・発表・公演・イベント等が催されています。各団体が日頃の活動・研究の成果を発表するだけでなく、成城商店街など地域社会との交流を深める催しも多数企画されています。



12月

成城レガッタ

埼玉県戸田オリンピックポートコースで開催される手漕ぎのボートレース。4人のクルー（漕手）と1人のコックス（舵手）の計5人1組でボートに乗り、300Mの距離を競い合います。種目は男子/女子/混合の3部門あり、クラスの仲間、サークルの仲間、部活の仲間など誰とでも気軽にチームを組んで参加できます。



12月

十二月祭

文化部連合所属団体による展示や発表会。六月祭と同様に、学内外で文化系の団体が日頃の活動の成果を発表しています。



4月

執行部主催オリエンテーション・
文体連オリエンテーション

学友会公認団体や活動内容を一挙に紹介する学生イベント。

※ 開催スケジュールは11頁参照



5月

伊勢原スポーツデイ「学長杯」

成城学園伊勢原総合グラウンドを会場として開催されるスポーツイベントです。軟式野球、サッカー、ソフトボール、テニスの4種目があり、クラスの仲間、サークルの仲間、部活の仲間など誰とでも気軽にチームを組んで参加できます。



6月～7月

六月祭

文化部連合所属団体による展示や発表会。学内外で文化系の団体が日頃の活動の成果を発表しています。



新入生の保証人(父母等)の方々へ

新入生が大学生活を
よりよく送るために

ご子女のご入学、心よりお祝い申し上げます。新入生は入学式を迎えた今日この日から、本学学生として新しい学生生活の第一歩を始められました。

さて、大学では高等学校の授業のように決められた科目を同じクラスで受講するのではなく、学生自身が

授業科目を選択して、計画的に履修していくことになります。自らの意思で勉学・研究に取り組むことができるという特徴をもっている反面、自由に流され、目的を見失ってしまうことも少なくありません。そのため新しい環境に適應できず、様々な悩みをもつ学生も増えて

きております。

こうした見地から新入生の保証人(父母等)の皆様、大学生活のことでぜひ知っておいていただきたいことを書き述べておきます。

✓ 授業の出席について

成城大学学則第23条第1項で定めるとおり、授業科目の出席すべき時間数の3分の1以上欠席した学生は、当該授業科目修了の認定を受けることができません。また、授業に遅れてくる学生がいます。ことに1時限目は9時から始まりますので、朝早く起きる習慣をつけなければなりません。

✓ 学生への伝達について

本学では、学生へのすべての伝達をCampus Square for Web(学生生活情報のインターネット閲覧・登録システム)のお知らせ掲示板と大学に設置されている掲示板によって行っております。



いったん掲示した事項は周知されたものとして取り扱いますので、必ずCampus Square for Web(掲示板)を見る習慣をつける必要があります。



✓ 電話呼び出し・照会について

本学では、個人情報保護の観点から、学外からの学生の住所・電話番号等、個人情報に関する問い合わせには一切応じておりません。また、高校時代とは違い、保証人・家族・友人からの電話による呼び出しにも、対応できない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

✓ 一人暮らしについて

地方から上京される学生は慣れない一人暮らしとなりますので、生活環境の変化や解放感などから、様々な問題が生じやすくなります。十分な睡眠や食事のバランスなどを配慮した規則正しい生活を送るためには、かなりの自制心が必要とされます。



行動範囲が拡大され、自由奔放な行動をとるようになり、その結果、体調を崩したり、授業を欠席しがちになる学生もしばしば見られます。

日頃から連絡を取り合い、生活状況をよく把握していただくことが望ましいと思われま

✓ 奨学金制度について

奨学金制度は、人物・学業ともに優れかつ健康であって、経済的理由により修学が困難な者に、一定の金額を給付または貸与することによって学費負担を少しでも軽減し、それによって勉学に専念できるようにとの目的から設けられた制度です。



特に利用者の多い日本学生支援機構の奨学金は、本人への貸与となるため、出願説明会や採用後の継続手続などすべてについて、学生本人が行わなければなりません。本人が自覚をもって情報を把握し、掲示板等の見落としがないよう注意する必要があります。

✓ 「キャンパス マナーブック」
について

今年度、新たに成城生が学生生活において注意すべきことや守るべき様々なルールやマナーを掲載した「成城大学キャンパス マナーブック」を作成しました。

近年、学生を取り巻く環境は大きく変化しています。ネット社会となった現在、大学生は情報化社会の急速な発展の中で育ってきており、eメールはもちろんのこと、FacebookやTwitter、LINEなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)がコミュニケーションツールとして完全に定着した世代です。大学生活においても、LINEによって入学前から友達作りを始めるなど、これまでの人間関係づくりとは大きく様変わりしています。

さらにはこれらによって、個としての自分に向き合う時間や機会が少なくなっていることや、様々な、そして大きなトラブルに巻き込まれる機会が増えていることも間違いありません。

また、DVD販売などを目的とした「マルチ商法」や、ゴスペルサークルの名をかたつての「宗教勧誘」、さらには世間を騒がす「危険ドラッグ」や「未成年飲酒」など、大学生に降りかかるトラブルは跡を絶たない状況です。

これらに対応するため、また学生が他人への思いやりをもった責任ある大人として行動できるようになるため、さらには、学生同士が互いを尊重し、注意し合えるような仲間を得るために役立てば幸いです。



✓ 就職・キャリア形成について

大学卒業後の進路を視野に入れ、そのために大学生活では具体的に何ができるのか、どのようなことに取り組んでいく必要があるのかを考えることは、とても大切なことです。

大学生活が始まったばかりの新入生が、卒業後の進路をイメージすることは難しいかもしれませんが、働くことや、仕事について少しずつ考え理解していくことは、自身の人生を豊かにしていくためにも重要なことです。

キャリアセンターでは、このように「働くこと」や将来について考えるための授業やプログラムを1年次から多数用意しています。正課(授業)においては「就業力育成・認定プログラム」を、正課外プログラムとしては「COMPASS」を実施しています。いずれも、自身のこれからの人生や働くこと、仕事について考えていくとともに、充実した学生生活を送るためにはどうしたら良いかを具体的に学ぶことができるプログラムです。

こうしたプログラムを通じて、自身の「キャリア」を形成していくことを1年生のときから取り組んでいただきたいと思

✓ 留学と国際交流について

成城大学では、国際理解と視野を広げるための多様な機会を提供しています。短期語学研修や交換・認定留学、学内での国際交流の相談は、国際センター窓口にて受け付けます。

留学では、チャレンジをしようという態度と自ら問題解決を行う努力が必要となります。学生本人がよく考え、当事者意識をもって、留学の相談や準備をすることが望まれます。

食堂施設紹介

食堂施設・売店 information

各食堂施設では手ごろな値段のメニューを提供しています。季節ごとにオリジナルフェアを開催しているので、食べ比べながらお気に入りを見つけてみてください！また各食堂チーフよりコメントをいただきました。

学生食堂 (法人棟 1F)



某有名芸能人、卒業生も絶賛の味！是非自分の舌で確かめてください。

おすすめ：ぶっかけ冷やし塩ラーメン



学生喫茶室 (法人棟 B1F)



▲ やきとり丼
カラシマヨネーズ
温玉のせ

焼きたてパンもやっています。是非食べに来て下さい。



学生ラウンジ (7号館 B1F)



成城ラウンジの心のこもった料理をどうぞ！

◀ 成城オムライス



文具売店 (法人棟 1F)



文具、教科書などの販売。各種免許、資格の申込も受付しています。



ファイル、ボールペンなどの“SEIJO”オリジナルグッズ販売中。



学生ホール売店 (3号館 1F)

おにぎり、お弁当、カップ麺、ドリンクなどの多彩なテイクアウト商品を販売しています。



学生部長からのメッセージ

真面目に楽しもう！

社会イノベーション学部 教授
遠藤 健哉



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、様々な期待を胸に成城大学での第一歩を踏み出したことと思います。興味のある分野を深く勉強してみたいとか、気になっていた本を読んでみようとか、スポーツで目一杯汗を流そうとか、好きな音楽、映画や舞台を存分に鑑賞したいとか、それぞれが新生活のプランを持っていることでしょう。大学生生活の基本は、自由と自己責任です。皆さんは、自由に選択を重ね、さまざまな活動に挑戦できる世界に入ってきたのです。ただし、結果には自分自身で責任を持たなければならないことを忘れてはなりません。

挑戦する気持ちを持続させ、自分で選択した活動を一定の成果に結びつけるためには、漫然と何かに取り組むだけでは十分ではありません。「物事を真剣に楽しむ」という姿勢を持つことが大切です。たとえば、サッカーの例で考えてみましょう^{*}。試合中、あきらめずにボールを追うサッカー選手は、はたから見ると苦しそうにも見えますが、真剣にサッカーをすることでしか得られない達成感を味わうことができます。その楽しさは、試合の最中に「楽しめばいいや」と必死にボールを追うのをやめてしまった「たわむれのサッカー」から得られる楽しさとは質の違うものです。そして、まじめに取り組む楽しさを体感することで、サッカー選手の技術は向上するといわれています。



一方、「試合に勝ちたい」というシリアスな意識が強すぎ、「サッカーを楽しむ」という部分が抜け落ちてしまうと、それはそれでサッカーの技術はなかなか上達しないようです。ミスを恐れて、積極的な動きや創造的なアイデアがなくなってしまうからです。

真剣に頑張るけれど楽しむことの意義は、スポーツの場合に限らないはずです。授業、課外活動、仲間との付き合いなど、大学生生活のあらゆる面にあてはまります。私たちは、とかく「楽しければいい」と、まじめにボールを追うことを忘れてしまうことが少なくありません。自ら選択した課題に意欲的に取り組むシリアスな意識と、創造的な力を呼び起こすような挑戦を楽しむスタンスの共存こそが、大学生生活を充実させるキーポイントの一つなのです。

大学生生活の4年間は、その後の皆さんの人生にとってかけがえのない時間です。「真面目に楽しもう！」という姿勢で挑戦を重ね、それまでとは違う自分を見つけたいと思います。当初は高校までの生活との違いに戸惑う人もいるかもしれません。壁にぶつかることもあると思います。そうしたときには一人で悩まず、周囲の人々や大学の相談窓口気軽に相談してください。たくさんの仲間や教職員とのコミュニケーションのなかから、自分のやりたいこと、進みたい道が徐々に明らかになっていくでしょう。

成城大学には皆さんの多様な挑戦をバックアップできるだけの豊富な資源が備わっています。各種教室や図書館などの設備だけでなく、留学制度や奨学金など諸制度も充実しています。また、互いに切磋琢磨できる友人や先輩、多彩な教職員たちといったソフトの資源にも恵まれているのです。こうした資源を有効に活用し、主体的に課題を見出し、挑戦を続けてほしいと思います。もちろんそのためのバックアップは惜しみません。まじめに楽しく、充実した4年間を過ごしてください。

※ 中原淳・長岡健『ダイアローグー対話する組織』ダイヤモンド社、2009年、98-99頁を参照

チョコっとコラム

チョコラム

学生相談室カウンセラー 関 真利子

『主体はあなた自身である』

4月を迎え、いよいよ新年度です。新入生の皆さんにとっては新しい環境の中で大学生としての毎日が始まるようとしています。入学に際して、今、皆さんはどのような心持でいるでしょうか。

これから始まる大学生活にワクワク胸を躍らせている人、初めての一人暮らしで不安な気持ちがいっぱいな人、言葉にならない何とも言い難い気持ちでいる人、成長した自分を実感してちょっと誇らしい気持ちという人。それぞれ違った心持で、今、この場に来ているわけですが、いずれにしてもこれから始まる大学生としての数年間を皆さんはこの成城大学で過ごし、学んでいくことになります。大学時代をあなたはどのように過ごしたいのか、そしてどのように過ごすのか。それを決める「主体はあなた自身である」ということをまず皆さんと確認し、共有したいと思います。

大学は、人が社会に出る前の最後の教育機関です。そこでは、より専門的な知識の修得や高度な知的達成を目指す学びの場が提供されていると同時に、社会人として、大人として自律した個人となるための練習の場も提

供されています。高校までのように、みな同じカリキュラムを同じ時間割りで学んでいくスタイルとは異なり、自ら選択し、決定することが求められます。またその決定は尊重もされます。学習の進め方ひとつとっても、唯一無二の正解があるわけではありません。選択の余地が広がる反面、幾つもある選択肢から「自分はこれを選択する」という決断が必要になります。そのため、決めることの難しさや大変さに直面することもあるかもしれません。

どんな場合であれ、選択すること、決めることにおいて大切なのは主体であるあなた自身の納得感です。これを除いて何かを決定することはできません。しかし、一方で自分が納得してさえいれば他はどうでもよく、関係ないことかといえそうではありません。こうした主観のみの決定では周囲の納得を得られないでしょう。何らかの決断をするとき、その決定事項が客観的許容の範囲か否かを考慮すること、その上で主体であるあなた自身が「これでよい」と思えるかどうか。このバランス感覚を養うことが大学生活の大きな課題のひとつと言えます。大学生活におけるあらゆる場面が練習の場になることでしょ。大いに練習してください。もちろん、学生相談室でも練習のお手伝いをしますので、気軽に訪ねてください。



Book Review ブックレビュー



宮田光雄

『生きるということ - 読書による道案内』
(岩波ジュニア新書)

学生時代はもっとも読書に適した時代です。自身の生き方の手がかりとなるような本を見つけ出す幸運を目指して下さい。多読乱読を勧めますが、どうしても言われれば、これ。グリム童話やエンデの小説を手がかりに、人生の在り方を考えるヒントを与えてくれます。著者は元東北大学教授。政治思想史が専門ですが、本書はとても読みやすい。



山田昌弘

『少子社会日本一もうひとつの格差のゆくえ』
(新潮文庫 他)

著者は、少子化の根元的要因として格差社会に注目します。そして、若年男性の不安定な就業状況と収入の不安定化、成人未婚者が親と同居し経済的に依存するパラサイト・シングル現象などが少子化を加速させたのだと読み解いているのです。本書は、少子化の実態とその背景、現在の少子化対策の課題などについて、調査データも紹介しながら分かりやすく論じています。また、随所で展開されている恋愛・結婚観・家族の歴史的变化に関する議論は、以上のような著者の主張の基盤となっています。家族論の入門書としてもおすすめの一冊です。



田中康夫

『なんとなく、クリスタル』(河出書房新社)
『33年後のなんとなく、クリスタル』(河出書房新社)

朝井リョウ

『何者』(新潮社)
『学生時代にやらなくてもいい20のこと』(文藝春秋)

「読むべき」というと大げさだが、4冊挙げてみた。これらは、大学生、というより大学生と称される「若者」の「等身大」の姿を描いたものである。田中氏の小説は、諸君らの親世代が大学生だった時代の様子がうかがえるが、親世代と今の「リア充」さとの相違点、著者への共感(嫌悪感?)など、「大学生」「若者」について親子で話すのには面白い素材となる。朝井氏の『何者』は、就活がテーマだけに希望に満ちあふれる新入生には「痛い」内容かもしれないが、大学生、若者がどのように位置づけられているか、自分自身の問題として考えるのによいだろう。



坂口安吾

『墮落論』
(新潮文庫 他)

南新二の『軽妙集』や斎藤緑雨の『あま蛙』は大好きだけれどマニアック過ぎるし入手も困難、で、すぐ、いつでも、どこでも手にできる文庫のオススメ本が、近代文学の巨匠・坂口安吾のエッセイを集めた『墮落論』一冊だ。角川、新潮、集英社、岩波その他どれでもOK。正しく墮落する道を墮ちきりなさいと、それこそが、自己発見と自己救済につながるという一大福音の書。生きることは疲れる。だけど負けない。だから、『墮落論』!

各種お知らせ

■在学生向けシラバス・履修の手引等の配付について

日時 4月1日(水)～4日(土) 10:00～16:00

場所 7号館1階 712・713 教室

※学生証を持参してください。

【教務部】

■在学生向け履修相談

日時 4月1日(水)・2日(木) 10:00～16:00

4月4日(土)12:00～16:00

4月6日(月)・7日(火) 10:00～16:00

場所 7号館2階 723 教室

※学生証・履修の手引・成績表を持参してください。

【教務部】

■新入生向け履修相談

日時 4月4日(土) 12:00～16:00

4月6日(月)・7日(火) 10:00～16:00

場所 7号館2階 723 教室

※学生証・履修の手引を持参してください。

【教務部】

■新入生対象教職課程ガイダンスについて

日時 4月8日(水)・9日(木) 12:20～13:00

場所 322 教室

対象 2年次に教職課程登録を検討している経済・文芸(国文・英文・文化史・ヨーロッパ文化学科)・法学部の1年次生

※学生証・履修の手引を持参してください。

2年次に教職課程登録を検討している1年次生を対象として、教職課程の概要、1年次に履修できる科目等に関する説明を行います。教育職員免許取得を希望している1年次生は、上記の日程のいずれかに必ず出席する必要があります。なお、このガイダンスに出席していない場合、1年次配当の教職に関する科目を1年次に履修科目登録上限単位数を超えて履修することはできません。

【教務部】

■第36回 学長賞懸賞論文の募集について

学長賞懸賞論文は、本学学生の勉学意欲を振起することを目的として、1980年度から始められました。審査の結果、優秀作品と認められたものには、最優秀賞、優秀賞、奨励賞をそれぞれ贈り、入賞者には賞状および副賞(最優秀賞15万円、優秀賞10万円、奨励賞5万円)が授与されます。

本年度の応募要領(論題、応募規定、論文提出期間等)については、6月初旬にあらためて掲示板およびホームページにて発表します。

【教務部】

■国際センターガイダンス

希望者対象。成城ハンドブックを持参してください。

IELTS説明会&前期攻略講座デモレクソン	4月7日(火)	9:00～10:00	3号館 311 教室
	4月8日(水)	12:10～12:55	
特別セミナー「留学とキャリア形成」	4月7日(火)	15:00～15:30	
	4月7日(火)	15:40～16:30	
夏期マレーシア短期海外研修説明会	4月9日(木)	12:10～12:55	
	4月15日(水)	12:10～12:55	
カナダ夏期短期英語研修説明会	4月7日(火)	16:30～17:00	
	4月10日(金) 4月16日(木)	12:10～12:55	

【国際センター】

■2015年度「成城 学びの森」コミュニティ・カレッジ春夏講座のお知らせ

本学では、「成城 学びの森」の名称で、本学教員を講師として、一般の方を対象とした生涯学習支援事業を行っています。学生のみならずには自分の学部以外の先生の講義を受けるチャンスとして、1講座3人まで無料で受講できるようにしております。また、保護者の皆様も本学で講義を受講できるこの機会をぜひご利用ください。

申込期間:4月6日(月)～4月22日(水)

開講期間:5月7日(木)～7月15日(水)

※詳しくは、本学ホームページ「成城 学びの森」のサイトをご覧ください

【企画調整室/「成城 学びの森」事務局】

■日本学生支援機構の奨学金について

日本学生支援機構は、総合的な学生支援を目的として設立された独立行政法人です。大学で選考・推薦手続きを経て、奨学金を採用者に貸与する機関で、代表的な奨学金です。機構の奨学金は貸与ですから返還の義務があり、必ず返還しなくてはなりません。希望者は必ず説明会に出席してください。

●奨学金出願者説明会: 説明会に出席しないと出願できません。
※学部生は①②のどちらかに出席してください。

対象: 学部生	①日時:4月9日(木) 18時～ 場所:3号館地下 003 教室 ②日時:4月13日(月) 18時～ 場所:3号館地下 003 教室
対象: 大学院	日時:4月10日(金) 18時～ 場所:3号館1階 312 教室

●予約進学者説明会: 説明会に出席しないと貸与が受けられません。

対象: 予約進学者…高等学校在学時に、奨学生採用候補者に決定している者。

日時:4月8日(水) 18時～ / 場所:3号館地下 003 教室

【学生部】

■定期健康診断(問い合わせは保健室)

日程 4月13日(月)～17日(金) (5日間)

午前の部: 男子…9:30～12:30

午後の部: 女子…14:00～17:00

場所 澤柳記念講堂ロビー

項目 身長・体重測定、尿検査、胸部レントゲン撮影、内科診察

【学生部】

■自転車通学を希望する場合(年度ごとに申請)

学生部で登録申請を行い「登録ステッカー」を受け取り、自転車本体の目立つ位置に貼付してください。

自転車は指定された場所に、駐輪してください。年度更新していなかったり、所定の場所以外に駐輪した場合は撤去します。

なお、バス、電車での通学との併用は出来ません。定期券を購入している学生には「登録ステッカー」は発行いたしません。

【学生部】

Campus Seijo News & Information

「Campus Square for Web (キャンパス・スクエア・フォー・ウェブ)」について

Campus Square for Web は、学生生活に必要な情報等をインターネットから閲覧・登録できるシステムです。スマートフォンからも専用画面で閲覧可能です。

● アクセスURL (アドレス)

<https://cs.seijo.ac.jp/>

大学ホームページ → 在学生の方 → Campus Square for Web からアクセスできます。

● Campus Square for Web で利用できる情報

- 学生情報参照：大学に登録されているあなたの情報です。
- 履修状況参照（履修登録完了後から）
- 単位計算
- 個人成績参照
- 定期試験時間割照会
- お知らせ掲示板：インターネット版お知らせ掲示です。
- 休講・補講・教室変更参照（履修登録完了後から）
- シラバス・履修の手引参照

※ 全てのお知らせが掲載されるとは限りません。必ず学内掲示板も確認するようにしてください。

2015年度 クラス担任・学生委員等一

本学では、クラスごとの担任、学生委員など、教員と学生とのふれ合いを第一の目的とした学生担当制度があります。どのようなことでもクラス担任・学生委員等に気軽に相談してください。

また、2年次以降も、ゼミナール・基礎演習・専門演習などの担当教員から指導・助言を受けることができます。

■ 経済学部

学年	組	担任
1	A	阿部 勘一
	B	河口 洋行
	C	庄司 匡宏
	D	三枝 大修
	E	中田 真佐男
	F	林 幸司
	G	山重 芳子
	H	牧野 陽子
	I	海老島 均
	J	青木 康晴
	K	上田 晋一
	L	中村 理香
	M	海保 英孝
	N	金 春 姫
O	小宮路 雅博	
P	平野 創	
2	ゼミナール担当教員	
3	ゼミナールを履修していない学生は、	
4	経済学科	大津 武
	経営学科	増川 純一

■ 文芸学部

学年	組	担任
1	A	大谷 節子
	B	鶴見 良次
	C	木村 建哉
	D	外池 昇
	E	新倉 貴仁
	F	中野 智世
2	A	山田 尚子
	B	窪田 三喜夫
	C	津上 英輔
	D	川田 牧人
	E	後藤 将之
	F	富山 典彦
3	A	上野 英二
	B	吉田 直希
	C	赤塚 健太郎
	D	篠川 賢
	E	牧野 圭子
	F	村瀬 鋼
4	A	小林 真由美
	B	谷内田 浩正
	C	相澤 正彦
	D	上杉 富之
	E	南 保輔
	F	高原 照弘

■ 法学部

学年	組	担任
1	学生委員	西土 彰一郎
		松田 浩
		川 淳一
		太田 晋
		永井 典克
2	基礎演習担当教員	
3	専門演習担当教員	
4	専門演習を履修していない学生は、	
	指宿 信	亀岡 倫史

■ 社会イノベーション学部

学年	組	担任
1	学生委員	加藤 敦宣
		川村 晶彦
		田中 陽子
		平井 康大
		南山 浩二
3	ゼミナールI 担当教員	
4	ゼミナールII 担当教員	
ゼミナールを履修していない学生は学生委員が担当		

施設の予定 (前期)

図書館

* 開講期間の開館時間

月～金曜日 9:00～20:00
土曜日 9:00～18:00

* 試験期間(7月・1月)の開館時間(平日)

月～金曜日 9:00～21:00

MNC オープンルーム: 8号館1階

月～金曜日 9:00～20:00
土曜日 9:00～16:00

※ 4/1～7/31までの予定日

トレーニングセンター (4/8～9/20)

① 月～金曜日 10:00～20:00
② 土曜日 10:00～17:30

※ 4/7までと、7/23以降の利用時間は①②とも10:00～17:30
※ 8月の全土曜日、9月の第1土曜日が閉館日となります。
※ いずれも受付は終了時間の30分前まで
※ 臨時の閉館日・閉室日等は、掲示やホームページ等でお知らせします。

成城大学ホームページ

<http://www.seijo.ac.jp/>

2015年度学事・行事暦 (前期)

4月 1日 (水)～	シラバス・履修の手引等の配付 新入生オリエンテーション・各種ガイダンス、 フレッシュマン・キャンプ等 7日 (火) まで	17日 (金)	Web 履修登録期限 (3・4年・大学院) 18時
2日 (木)	入学式 Web 予備申請開始 9時	18日 (土)	Web 履修登録期限 (1・2年) 13時
7日 (火)	Web 予備申請期限 16時 Web 予備申請結果発表 18時 (予定)	29日 (水)	【昭和の日】授業実施
8日 (水)	前期授業開始 Web 履修登録開始 8時30分 ※ 14日18時から15日8時30分までの期間は、 抽選処理のため、履修登録はできない	5月 2日 (土)	振替授業実施 (月曜日の授業を行う)
13日 (月)～	定期健康診断 17日 (金) まで	5日 (火)	創立記念日
		9日 (土)	振替授業実施 (火曜日の授業を行う)
		6月15日 (月)	全学総会 ※ 5限のみ休講 (大学院は除く)
		7月20日 (月)	【海の日】授業実施
		22日 (水)	前期授業終了
		23日 (木)～	学期末定期試験 31日 (金) まで
		8月 1日 (土)	夏季休業開始 9月20日 (日) まで

■ 主な関係部署の電話番号

学生部	学生課	03-3482-9081	
	奨学金相談窓口	03-3482-9080	
	学生相談室	03-3482-9086	
	大学保健室	03-3482-9085	
	トレーニングセンター	03-3482-5790	
	教務部	教務課	03-3482-9045
		学務課	03-3482-9054
	キャリアセンター	03-3482-9063	
	大学図書館メインカウンター	03-3482-9148	
	メディアネットワークセンター (MNC)	03-3482-2165	
国際センター	03-3482-9020		
企画調整室	03-3482-9031		
管理課	03-3482-9239		
入試広報部	03-3482-9100		
経済学部研究事務室	03-3482-9403		
文芸学部共用研究室	03-3482-9412		
法学部研究事務室・受付	03-3482-9644		
社会イノベーション学部研究事務室	03-3482-9764		
共通教育研究センター	03-3482-9556		
学園関係	会計課	03-3482-1302	
	管財課	03-3482-1409	
	学園正門案内所	03-3482-1452	
	伊勢原総合グランド	0463-93-0771	

■ 大学事務取扱時間

各部署	場所	月曜日～金曜日	土曜日
教務部・学生部	1号館1階	8:30～18:00	8:30～13:00
なんでも相談窓口	1号館1階	8:30～16:30	閉室
保健室	1号館1階	8:30～18:00	8:30～13:00
学生相談室	4号館1階	10:00～13:00 14:00～17:00	10:00～13:00
キャリアセンター	1号館1階	8:30～18:00	8:30～13:00
管理課	2号館1階	8:30～16:30	8:30～13:00
国際センター	2号館2階	8:30～16:30	8:30～13:00
企画調整室	2号館2階	8:30～16:30	8:30～13:00
図書館	図書館	9:00～20:00 (試験期の7月月は、 21:00まで)	9:00～18:00
メディアネットワークセンター	8号館1階	9:00～20:00	9:00～16:00
経済学部研究事務室	3号館4階	8:30～16:30	8:30～13:00
文芸学部共用研究室	3号館3階	8:30～18:00	8:30～13:00
法学部受付	5号館1階	8:30～16:30	8:30～13:00
社会イノベーション学部 研究事務室	3号館4階	8:30～16:30	8:30～13:00
共通教育研究センター	1号館2階	8:30～16:30	8:30～13:00
非常勤講師控室	1号館2階	8:30～18:00	閉室

※ 定期試験期間中、夏季・春季休暇期間中は変更となります。
※ 日曜日、祝日、冬季休暇期間中、夏季一斉休業期間は業務を行いません。
その他変更がある場合は、掲示・Campus Square for Web でお知らせします。

編集後記

新 入生諸君が期待を胸に大学の正門を通る頃には、我が成城の桜は満開となっていることがほとんどである。卒業生である筆者も、40ウン年前の4月6日(当時は入学式が今より少し遅かった)に期待と不安の入り混じった思いで、入学式に臨んだ。式が行われる講堂は、筆者が入学した頃には、創立50周年の折に建てられたことから「五十周年記念講堂」とネーミングされていたが、この度全面的にリニューアルが施され、創立者・澤柳政太郎先生の名を冠した「澤柳記念講堂」として生まれ変わった。内装に使用されている木材は、澤柳先生の生誕地である長野から運ばれたものである。樹木が多く、緑(今はピンク)豊かなキャンパスからは、都心の大学には決してない(ぬくもり)が感じられるはずだ。第一志望の方もそうでない方も、早くこのキャンパスで自分の居場所を見つけて、4年間密度の濃い時間を過ごしていただきたい。

成 城は、小田急線をはさんで北に「成城学園」(1925=大正14年に牛込からこの地に移転)、南には「東宝」という映画

会社の撮影所(その前身となるP.C.L.のスタジオが作られたのは1932=昭和7年)があることから発展してきた街。学園が移転した当時はまだ小田急線は開通していなかったが、いまや高級住宅地として日本中に知られる地名となった。東宝の他にも、大映や日活の撮影所が近くにあったことから、黒澤明や本多猪四郎、市川崑といった映画監督に加え、三船敏郎や高峰秀子、石原裕次郎などの俳優たちが住みつき、さらには柳田國男(本学には柳田先生の蔵書を収めた「柳田文庫」から発展した民俗学研究所がある)をはじめ、西條八十、北原白秋、大岡昇平、水上勉、横溝正史、横尾忠則などの作家・文化人も多く居を構えている。あの世界的指揮者・小澤征爾さんが歩いているのを見かけることもしばしばだ。春は前述したとおり桜の花が咲き乱れ、秋には銀杏の黄色い葉が街を覆う。少し歩けば砧公園内に「世田谷美術館」もあり、現在「東宝スタジオ展」が開催中である。学生時代には、そんな成城の街や文化の魅力にも大いに触れて欲しい。(T記)